

分野連携企画報告書

行事（企画）名

日本機械学会2023年度年次大会における部門合同企画

行事URL <https://confit.atlas.jp/guide/event/jsme2023/top>

1.開催日・会場 2023年9月5日（火）13:00～16:00
東京都立大学南大沢キャンパス

3.企画内容

特別行事企画・先端技術フォーラムとして、「複合材料研究の最新動向と今後の展望」と題し、5名の気鋭の研究者にご講演頂いた後、パネルディスカッションとして今後の研究展望について議論を行った。機械材料・材料加工部門と材料力学部門は2021年度及び2022年度に共同で複合材料に関する特別行事を企画してきており、継続的な技術交流、部門間連携の確立を目指したものである。今回は、高分子系複合材料を対象を絞り、議論の方向性を明確にすることに努めた。

4.連携の成果

通常の年次大会等においては、別のOSでの参加になりがちな両部門の研究者・技術者が一堂に会し、講演聴講、質疑応答を行うことで、有意義な交流の場となった。講演者5名は、大学の研究者で現在この分野でのトップランナーである。そのことから、多くの聴講者を集めることができた。パネルディスカッションでは、企業からの技術者による問題提起等多くの発言を得ることができ、示唆に富んだ議論がなされた。若手研究者、学生の参加者もあり、刺激になったものと思われる。このような交流は産学官の共同研究の萌芽となることが期待される。

2.企画部門

機械材料・材料加工部門
材料力学部門

5.今後の課題（苦勞した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

コロナ後を見据えた講演会ということで、年次大会自体は対面のみで行われた。国際交流も復活していく中で、講演者の一名が国際会議からの帰国便がキャンセルとなり、対面参加不可能な状況となった。しかし、急遽動画により対応頂くことができ、大きな影響は免れることができた。このようなハプニングにもかかわらず、当該講演者への謝金支払いを認めて頂いたことに謝意を表す。

今回は、両部門において、比較的連携の進んだ高分子系複合材料の研究に関する合同企画であったが、今後はより広い分野での連携が期待される。連携の方法ノウハウについて、この分野では蓄積が進んでおり、他分野の研究者への情報提供を行っていく所存である。

若手研究者・学生への刺激となるような内容を目指したところであるが、講演室での交流が部門同好会等での交流につながっている状況も見られ、より深い交流へ発展していくことを期待している。

今後も継続的な学会による連携企画への支援及びできればその拡大をお願いしたい。